



第120号 (季刊)
平成28年10月
田中野田町内会

<http://townweb.e-okayamacity.jp/tanakanoda/>



地域との合同避難所体験

岡山西支援学校長 河田 智三

皆様には、平素から本校教育にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。本校は、今年で開校から40年目を迎えますが、あらためて長きにわたって地域の皆様に支えていただいたことに心から感謝申し上げます。

さて、本校を含む周辺地域は、岡山市のハザードマップによると、南海トラフ巨大地震が発生した場合、液状化の被害が大きいと想定されていることから、地域と協力して、防災対策を立てておく必要があります。

また、本校には、初めての環境が苦手な子どもたちが多いため、保護者の中には、いざというときは、学校へ避難したいという方も多く、避難所としての学校の機能を確認しておく必要があります。今年4月に起きた熊本地震の際にも、障害のある子どもたちがなかなか避難所に入ることができず、車中泊を余儀なくされたという例を数多く耳にしました。

支援学校が障害のある子どもたちの受け皿になるとともに、地域の方の避難場所としても対応できることは今後重要になると考え、今年度も「地域との合同避難所体験」を実施し、たくさんの地域の方々に参加していただきました。

私自身が初めて参加し、防災をテーマにして、学校と地域とがつながる貴重な機会にもなっていると実感しました。

今年度の成果が、これからも地域との絆づくりに生かせるよう、地域や保護者の方々と協力して行える取組にしていけたらと考えております。今後とも、どうか、ご理解とご支援を頂きますようお願いいたします。

体験例



新聞紙でコップ作り



火おこし



非常食の試食